

2016年12月18日
日本共産党西地区委員会
311-4704
西京生活相談所
392-3546
ホームページ
http://kawai-yoko.jp/

《活動報告News》

きょうも元気に!

日本共産党 京都市会議員

河合ようこです。



11月市会報告

12月9日、11月市会が終了しました。

●**今年度の補正予算**…137億6900万円。国の「未来への投資を實現する経済対策」28兆1000億円に対応するものです。老朽化した第二市場の整備や西院駅のバリアフリー化の推進、樫原市営住宅等の耐震・バリアフリー化、川西・北福西・東竹の里市営住宅等の改修、介護施設整備・保育施設整備補助など必要なものであり、党議員団は賛成しました。その上で、国の経済対策そのものがアベ

ノミクスの破たんを示していることや63億300万円を占める臨時福祉給付金は暮らしの底上げには程遠いものであること、第二市場の整備費は国がTPPを推進する予算としていたこと等は問題だと指摘しました。

●**子ども若者はぐくみ局創設**
来年4月から設置予定のこの局は、「子ども若者のことを一元的に統括すると市はいいますが、子どもの権利を守る立場が欠けており、合わせて区役所の生活衛生部門を市内一所に集約化しよう」としてい

市民の宝・敬老乗車証を守ろう

「家計簿調査報告集会開催

家計簿調査にご協力ありがとうございました



敬老乗車証「家計簿」調査結果の報告集会

16年12月3日 主催：敬老乗車証を守る会 日本共産党京都市



報告しました

12月3日、敬老乗車証を守る会、連絡会と党市議員団の共催で行った報告集会には90人を超える参加がありました。敬老乗車証の利用状況を10月一か月間記入していただいた「家計簿調査票」は千人を超える方から寄せられ、「敬老乗車証のおかげで外出できる」となど、記述もいただきました。私は議員団を代表して議会論戦等報告しました。

ること、福祉事務所と保健センターを統合することによる専門職の職種・人員配置等の計画も示されていないことなど課題が多く残されていることから、再考すべきと求め、反対しました。

●公の施設の廃止、規制緩和

市の老人いこいの家の廃止、市立開智幼稚園などを廃止して民間移管の上、認定こども園に移行する条例は、公的責任の後退であり、反対。円山公園の公園内に賑わい施設が設置できるようにする条例にも反対しました。

●議員の期末手当引上げに反対

市議員の期末手当の引上げには賛成しましたが、議員については反対しました。(党議員団は、議員報酬の3割カットを主張しています)

■5件の請願不採択に反対

「福島原発事故避難者の無償住宅支援継続」「家庭ごみ有料化指定袋代の値下げ(2件)」
「全員制の中学校給食の実施」
大宮消防出張所の廃止に関



山科区のママたちが108人の声を持って、「全員制の中学校給食」と、各会派を回りました。山科区の本山陽子議員、教育福祉委員の4人が受け取り、総議決。

する説明会の開催を求める請願は、どれも市民の切実な要望であり、「採択すべき」と求め、不採択に反対の討論を行いました。私は、「全員制の中学校給食の実施について討論しました。山科区でママたちが取り組まれているアンケートの声も紹介し、京都市が生徒・保護者等の声をきく調査を行うこと、市民の願いに応え、全員制の中学校給食に踏み出すことを求めました。

■**駅ホームにおける転落事故防止対策の強化を求める意見書**
全会派共同提案で可決!

民進党提案の「いわゆる年金カット法案の撤回を求める意見書」案は、社会保障と税の一体改革の3党合意に基づく改革を求める提案であり、反対し、党議員団は「国民年金等改定法案の撤回を求める意見書案を提案しましたが、否決されました。